

ひの 議会だより

No. 100

平成 26 年 1 月
発行/日野町議会



12月定例会 主な内容

議会だより・100号特集	…	p 2～5
平成25年度補正予算	………	p 6～7
常任委員会活動報告	………	p 9～11
一般質問（4人）	………	p 12～15
特集コーナー	………	p 16

金持獅子舞い

正月、金持青年会は、地区住民の安泰を獅子舞いに託して家々を練り歩き、だれにも幸せを届けます。

（関連記事十六ページ）



建設中の庁舎
第 20 号 平成4年11月
財政規模 35億847万円
人 口 5,336人



町制30周年
第 9 号 平成元年11月
財政規模 24億4,452万円
人 口 5,574人

日野町議会のご活躍 祈ります
元日野町長 山田芳美

議会だより第100号発行、おめでとうございます。

私は、昭和54年4月16日、日野町長選挙に無投票で当選させていただきましてから、4期16年間に職をいたしました。

この間、皆様から多大なるご支援とご協力を賜りました。そのご恩は、決して忘れません。

本当にありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

特に、議会からのご協力とご支援は今も、強く心に残っています。

日野町の発展と日野町議会のご活躍を心からご祈念申し上げます。

主人公は、住民
元日野町長 生田秀正

議会だより第100号の発行を心から祝福申し上げます。

平成7年5月、第5代日野町長に就任以来、2期6年8ヶ月、議会をはじめ町民皆様にご指導ご支援を賜り、深く感謝の念で一杯でございます。

さて、当時は20世紀の晩年、そして21世紀への幕開けの時であり、地方分権社会の推進、総合的な地域福祉施策充実、新世紀への発展基盤の構築等、的確に対応し、個性あふれる効率的な行政の実現が求められている時期でもありました。

特に鳥取県西部地震は、忘れられない出来事でした。

住民が、心をつなげて助け合い、更に救助・救援・復旧・復興対策に、議会と行政合同で県及び国に対し、公的支援制度等要望・陳情活動を再度に亘り展開したことです。

地方の自立、まちの活性化の主人公は住民であり、人の交流が盛んになればなるほど地域は活性化します。

この基本理念を尊重し、郷土の恵まれた自然にふれながら、先人が築いた文化、歴史、文化遺産を大切に育んでいくではありませんか。

この記念すべき第100号の発行を重ねてお祝いし、今後更なるご発展をお祈りいたします。



地震・復興ボランティア
第 50 号 平成12年12月
財政規模 53億3,671万円
人 口 4,666人



保育所もちつき
第 40 号 平成10年2月
財政規模 36億9,490万円
人 口 4,846人



日野保育所
第 29 号 平成7年2月
財政規模 40億4,307万円
人 口 5,065人

思い出すこと

元日野町議会副議長

舟越克紀（本郷）

議会だより第100号おめでとうございます。在職していた昭和42年から28年間を思い出してみます。

当時の方々は殆んど今は亡く、寂しい限りです。私と同僚在職者は、佐々木議長と竹永さんだけです。

庁舎は八千代橋の袂にあった大正時代からの建物で、今はその面影すら探すことは出来ません。当時の町長は、長尾四郎続いて谷内丈夫、山田芳美の各氏でした。

議員実数は18人、多士済々、選挙に立候補する届けは殆んど無所属だったけれど、それぞれ我が意は固く、理念の実現の為に火花が散ることもしばしばでした。しかし個人の立場になれば和気あいあい、特に懇親の酒席となれば、緊迫した場面もあったが、手拍子と共に自慢の十八番（おはこ）も飛び出したものです。

当時の国会議員は、古井、赤沢、足鹿、徳安、相沢、野坂氏などで、国政選挙ともなれば、それぞれの支持する方々の応援運動に張り切ったもので

です。そんな事があればこそ、住民の方々と接する機会が多くなり議員としての日常活動も、より活発に出来たのではなからうか。

宮城県沖大地震の際、丁度バスで旅行中でした。屋根が揺れ、家が倒れるのも目のあたりにし地震の恐ろしさを痛感しました。夜は谷内町長、島田議長などと旅館でローソクの光を頼りに食事をしたのも懐かしい思い出です。

人と人との繋がりが稀薄となり、経済（カネ）至上の世の中となつてゐるのを憂います。

欲望に終着点は無いかもしらないが、贅沢がすぎるような今の暮らしを見直す姿勢が大切ではなからうか。

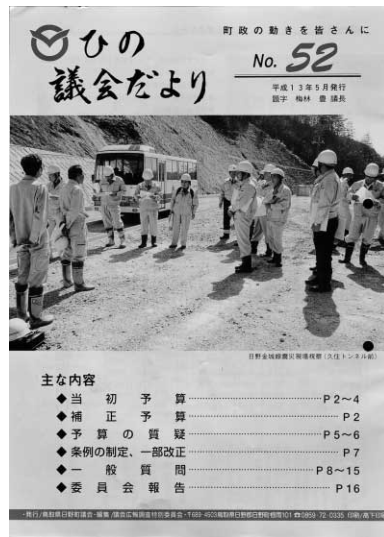
「攻めの農業」「6次産業化」等々新しい考えが唱えられてゐるが、うまくいくか心配です。

昔々タラの盛んな時代、奥日野地方に数万人の人が住んで居たと聞けば、過疎をなくするためには、国の施策として住民が生活出来る収入源となる産業の移入より他に道は

無いと思います。

高度な交通、通信等技術の発達した現代、政治・経済の地方移転は出来ないものかと思ひは尽きません。

議員定数もギリギリとなっているが、明るい将来の為に皆様の一層のご尽力を祈つてやみません。



議会だより編集の思い出

元議会広報調査特別委員会委員長

佐々木周子（根雨）

昭和62年12月、日野町議会だより第1号発行から、今回の第100号を心からお慶び申し上げます。

「継続は力なり」、平成3年4月から平成23年4月まで20

年間の議員活動の中で、編集に携わってきた一人として感無量であり、頑張られた編集委員の皆さまに敬意を表します。

第100号発行の原稿依頼を受け、編集行路を懐かしくたどっていきたいと思います。議会だよりは、年4回の定例会ごとに、本会議の一般質問や議案の審議、各常任委員会、議員研修の様子、陳情審査結果等々、その他たくさんの方々の議員活動を町民の皆さまに公開して、ご理解・ご協力を頂くために発行しています。

震災現場視察
平成13年5月
59億3,645万円
4,539人

第52号規模口
第52号規模口
第52号規模口

のについて、意見交換をしながら全体の構図を描き決めたきました。

初めての時は戸惑いがありましたが、県の研修会等に参加したり、本を読み、回を重ねていくうちに、自然と編集のノウハウ等が身につけてきたように思います。

しかしながら一般質問は、個人ですから議会だよりに載

せるタイトルには苦慮して来ました。

また、委員長を、6年位務めた時には、全体の責任があり本当に大変で苦しみの連続でありました。

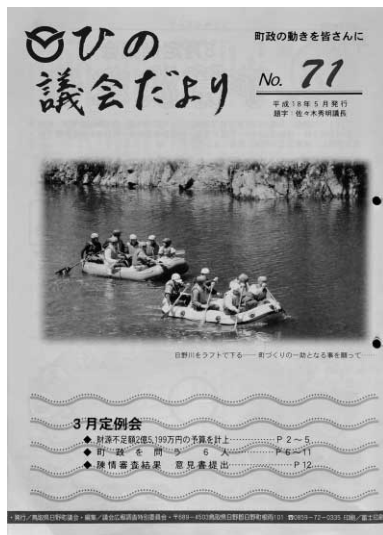
編集会議で全体の構図はできていても、表紙や一般質問等写真撮影のこと、その他記事をどうまとめていくのか試行錯誤しながら、何とか毎回形を作り発行に漕ぎ着けて来ました。

本町は、平成17年に財政難に陥り表紙もカラー印刷から白黒になりましたが、平成22年3月、鳥取県町村議会議長会主催のコンクールで第82号が「努力賞」をいただきました。県下の町村議会の広報紙全体がカラー印刷の中で、本町だけが白黒で、賞を受けたことは画期的であり誠に嬉しいことで、今までの苦勞が報われた気がしました。

議会広報常任委員会の皆さまは大変ですが、第100号が終着駅にならないように、未来永劫続くよう、よろしく願ひいたします。



布おしどり
第 76 号 平成19年11月
財政規模 27億4,887万円
人 口 4,067人



日野川ラフティング
第 71 号 平成18年 5 月
財政規模 30億4,430万円
人 口 4,173人



合併協議会設立
第 60 号 平成15年 8 月
財政規模 37億159万円
人 口 4,490人

日野町を思う時

佐々木 希（根雨）

私は小さいころから日野町が好きでした。小学校の帰りにはいつも誰かに声を掛けてもらえ、温かく自然豊かな日野町がとても自慢でした。

今では、おしどりや金持神社、たたら楽校など町の活性化に向け、たくさんの方が尽力してこられ、観光地として見どころの多い町になってきているのではないのでしょうか。

しかしその一方で、社会人として根雨に帰ってきてみて衝撃を受けたことがあります。

観光面においては多くの人が日野町に訪れる姿が見受けられ、外部からの顧客を集める事に一役買っていますが、日野町に住む人はとても少ないということです。

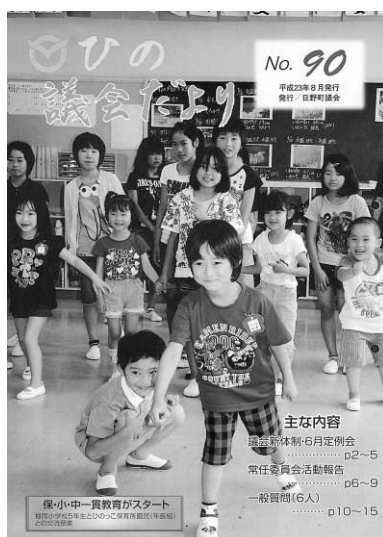
町の中を歩いてみると、家屋は空き家が多く、平日に歩いていても人に会うことがほとんどありません。静かな町中では、若い人はもちろん子どもたちの姿を見ることが珍しいように思います。

カーテンや障子が閉められたままの空き家は、がらんとして置いて、置かれているものは何も無い状態です。この時期には雪かきもされず、寂しい雰囲気が残っています。

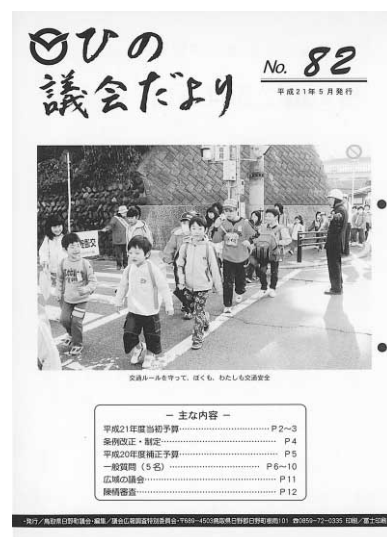
県外へ出た同級生が帰ってきてても、「人がいないね。こんな寂しいところだったっけ。」「することがなくて暇だね。米子に行かないと遊べないね。」という話になります。

若者にとつては、就職先も遊ぶところも少ない。買い物など、何をするにも一時間かけて米子に行くことが主流となっている。そうすると若者にとつて日野町は、住むのには魅力が少なく感じざるを得ません。

しかし、仕事を通し色々な方にお会いする中で、年配の方に伺ったお話しで心に残った事があります。「日野町には町の真ん中に川が流れていて、とても



保小中一貫教育
第 90 号 平成23年 8 月
財政規模 31億8,709万円
人 口 3,682人



交通安全
第 82 号 平成21年 5 月
財政規模 33億1,178万円
人 口 3,865人

風流でいいね。」

「年を取ると、病院もお店も近くにあって、とても便利な町ですよ。」と話されます。

私は衝撃を受けました。今まで、このように日野町のことを考えたことはありませんでした。

ふと日野町で過ごした日々を振り返ると、温かい人々、美しい自然、ゆっくり流れる時間・・・

日野町は、便利で物の豊かさであふれる都会から得られない、温かさにあふれる素敵な町でした。

そんな日野町の魅力がたくさんの人に理解され、さらに魅力あふれる町になっていくことを願ってやみません。

一般会計
補正予算

627 万円を追加

総額 32 億 9,012 万円

12月定例会

第8回定例議会は、12月12日に開会、会期を12月18日までの7日間とし、補正予算7件、条例の一部改正4件、意見書提出1件、人事案件1件を原案のとおり可決、同意しました。一般質問では、4人の議員が活発な質問・意見を展開しました。

特別会計

区分	補正額	総額	歳出の主なもの
国民健康保険	△ 76万円	4億3,554万円	負担金減額
簡易水道	137万円	1億739万円	修繕費
公共下水道事業	321万円	1億1,210万円	汚泥運搬費
農業集落排水事業	19万円	7,634万円	汚泥運搬費
鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会	△ 3万円	57万円	

歳出の主なもの（一般会計）

保健事業費
がん検診受診者増によるもの
8万円

財産管理費
町山村開発センター
ステージ壁、カーテン
取り替え等改修費
168万円



土砂崩れした日野金城線

災害復旧費
日野金城線
380万円



山村開発センターを利用する町民

塵芥処理費
可燃ごみ袋購入費
233万円

審議の経過
議員 なぜ当初予算に計上しなかったのか。
課長 2年分を一括注文のため、発注して3ヶ月かかる。3月末の在庫量が不足の懸念がある。そのため補正でお願いしたい。
議員 そういう懸念があるなら、なおさら当初予算で行うべきだ。
課長 膨大な量で置き場のスペースもあり、補正でお願いした。今後は当初予算で行うようにしたい。

全員賛成で可決した。

学校管理費
根雨小プール
水道使用料
27万円

審議の経過
議員 なぜこんなに水道料がかかったのか。
課長 水温が30度を超える日があり、例年より水温調節に多くの水を使った。アオミドロが発生して循環ろ過機能が作動せず、全量交換をしたため。
議員 1、2日でアオミドロは発生しないと思われるが、日常管理はどうなっているか。
課長 毎日管理はしているが、連休や高温の日が重なって、アオミドロの大量発生につながった。十分検証して、今後こういうことが起きないようにしたい。

※数値の千円未満は切り捨てしています。



農作業

農業振興費
チャレンジプラン支援
事業補助金

△171万円

審議の経過

議員 減額の理由は。

課長 今年度の自己負担部分の資金調達が困難となったため。

議員 計画的収支に基づいて補助申請がされ採択している。過去にも補助金をだしている。

経営内容の分析は行っているか。

課長 行っていない。次年度のことも含め、経営者とよく話をしたい。

決算特別委員会の
主な個別指摘事項への回答

滞納対策は

回答 重複滞納者が多いことから、関係課での徴収はもとより、特別徴収チームの機能をさらに強化し、金額の多少にかかわらず、滞納金等未収金の回収に努めます。

町道の草刈り等、管理作業は

回答 バス路線、通学路などは、町で除草等を行います。

これ以外は、所有者、地元自治会で対応をお願いしています。危険性が高く緊急な場合お知らせ下さい。

小中学校児童生徒に係わる体育大会等選手派遣費補助金は
回答 昨年度規則改正したばかりです。

ご指摘もありますので、全額補助が、本当に妥当なのかを含め、今後検討します。

職員の代休・残業対応は

回答 課長の職務命令により勤務した場合は、時間外手当の支給とします。

土日の時間外勤務は、職員の健康管理も含め、翌週に代休を取るよう指導します。



自治会で町道の草刈り

母子福祉貸付は、父子家庭も対象に

回答 事業主体は、日野町母子会なので、意向を伺い検討します。

小学校の冷房設備は

回答 現在小学校は、空調による暖房機器が稼働中ですが、両校共、設置後17年を経過しており、今後の状況に応じ整備等を検討します。

鳥獣被害飛び地対策は

回答 さらなる効果的な管理捕獲、侵入防止策等、対策強化が重要と考えます。

指摘事項は今後、各常任委員会でも回答を審議して26年度以降の予算に、反映されるよう努めます。

請願審査

○消費税の複数税率導入と新
聞への軽減税率適用に関する
請願

採択 全員賛成で可決した。

○年金2・5割削減中止を求
める請願

不採択

審議の経過

委員会報告は、年金は老後の生活設計の中核をなすものであり、減額されることは耐え難く趣旨は理解するが、社会保障費財源の現状を考え趣旨採択としたが、年金を削減するべきでない等の討論があり、結果、原案に対し賛成少数で不採択とした。

賛成者 竹永明文、佐々木求

中原信男

反対者 中原 明 安達幸博

小谷博徳 松原直人

松本利秋 梅林智子

条例の一部改正

○日野町税条例の一部改正

・地方税法改正に伴う延滞金割合の特例の見直し

・鳥取県条例により認定されたNPO法人等に対する個人住民税の寄附金控除の適用拡充

・租税特別措置法改正に伴う公益法人等に係る町民税課税

の特例の見直し
○日野町社会教育委員に関する条例の一部改正

○日野町立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部改正

○日野町小集落改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

・住宅の払い下げに伴う管理住宅の削除
以上4件、全員賛成で可決した。

意見書

○新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書
全員賛成で可決した。

指定管理者を決定

日野町交流センター「リバーサイドひの」の指定管理者に株式会社M・Aサービスを決めました。

期間は平成26年4月1日から平成29年3月31日まで。
全員賛成で可決した。

人事

日野町監査委員の選任に同意
長谷部 正人氏（黒坂）
任期 平成25年12月21日から4年間
全員賛成で同意した。

出かける議会 スタート

平成26年1月16日、第1回議会報告会・町民の皆さまとの意見交換会を日野町公民館で、22人の参加を頂き開催しました。

議会報告として議会運営委員会から、新庄村議会と交流会を開催した件。

総務経済常任委員会からは、男女共同参画、公共交通、農業の担い手、町の活性化等の討議を行っている件。

教育民生常任委員会からは、少子化を含む教育環境、福祉・医療・介護をテーマに活動を行っている件。



多くの意見があった意見交換会

議会広報常任委員会からは、広報紙の字数を減らして読みやすく工夫する。

情報発信として議会中継等を課題としている件。

決算審査特別委員会からは、滞納金の状況など、各委員会から活動報告を行いました。

町民の皆さまからは新庄村との交流は、議会のみならず、町と町、人と人との交流につなげてほしい。町で婚活をしてほしい。



婚活イベント開催を

農業水路の補修補助率のアップの要望。

国による農業委員会の改革の動きに疑問点。

朝の時間帯のタクシーの稼働について。

町営バスと電車の時間の調整。

黒坂診療所の送迎は、ありがたいとのご意見。

日野高校施設の活用。

日野町として、県立高校への要望等の必要性。

子育て支援など多くのご意見を聴かせていただきました。



住民に喜ばれる黒坂診療所



スムーズなバスと電車の乗り換えを

意見は議会内で討議

これらのご意見は、議会内で調査・検討して、対応・結果をお知らせいたします。



使いやすいタクシーに

「ご意見・ご要望を聴く会の開催地・団体等の募集

議会では、自治会や自治会役員、各種サークル・グループ単位の開催でも結構です。で、町民の皆さまのご意見、ご要望など、直接出向いてお聴かせいただきたいと考えています。

開催希望がございましたら、お気軽に左記議会事務局までご連絡ください。

電話0859(72)0335

新庄村・日野町議会交流会

11月19日、2回目となる新庄村議会と日野町議会の交流会を本町で開催しました。

近藤家のたたら場が新庄村にも数多くあり、昔から交流があったことなどから、日野町公舎に展示してある、「たたら楽校」・都合たたら高殿模型について、たたら顕彰会佐々木幸人氏の説明を聞き、興味深く研修することができました。

現地研修終了後、本町庁舎に移動して、今後の交流する上での課題について協議を行いました。



「たたら楽校」での研修

新庄村議会より観光資源として出雲街道の活用と取り組み状況として、がいせん桜の延命化、電柱の地中化事業、また、ひめの餅の加工製品の販売を行っていると話されました。

新庄村は、買い物、病院利用で日野町との交流が深く、今後とも議会の交流を続けることを決めました。

鳥取県町村議会議員研修会

11月25日、鳥取県町村議会議員研修会が、北栄町で開催されました。



新庄村議会・日野町議会交流会



あいさつをする佐々木秀明鳥取県町村議長会会長

山梨学院大学法学部江藤俊昭教授に「住民自治の進展と新しい議会の役割と課題」の講演を聴きました。

議事に「とんでもない」権限が与えられている。

この権限の自覚を持つことが議会改革の起点である。

議決責任の再確認・説明責任の確認・問題をめぐりだすための議員間討議・調査研究住民との意見交換・報告会からの独断性の排除を経て執行部と政策討議を行い、監視と政策立案の役割を発揮しつつ討議し、議決を重視する議会であれ、と力説されました。とても感銘を受けた講演会でした。

総務経済 常任委員会 報告

昨年は委員会活動の中で、様々な方々にお世話になりました。

本当にありがとうございました。

定例会の会期中には、請願・陳情の審査を行うとともに、テーマを決めての調査・研究も進めました。

十二月定例会では、「消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願」を審査、意見書を関係大臣に提出しました。

また、町道黒谷線の進捗状況を現地に行き視察しました。

今年は、2月に島根県立農業大学にある、中山間地研究センターでの研修をはじめに、「町の活性化」をテーマに取り組みを始めています。



町道黒谷線を現地視察



またその際、島根県の豪雨災害の復興状況を視察し、災害に強い町づくりに役立てたいとも考えています。

昨年からの引き継ぐ課題もあります。これらの取り組みをしながら、個人や団体の方にご意見をお聞かせいただくこともあると思いますが、その際にはご協力いただきますようお願いいたします。

教育委員会を一本化

京都相楽東部広域連合を視察

教育民生 常任委員会 報 告



茶畑がひろがる和束町

教育民生常任委員会は、少子化に対応した今後の学校教育のあり方を考えるため、平成25年11月6日、京都府相楽郡和束町、相楽東部広域連合教育委員会に教育行政視察を行いました。

広域連合を設置

相楽郡は7町村で構成されていましたが、平成の大合併で3町村が単独自立となりました。

危機的な財政状況に対応し、時代に適合した行政体制を整備する地方分権型社会の構築を目標に広域連合が設置されました。

少子高齢化の進行により、

広域連合構成町村

町村名	笠置村	和束町	南山城村
人 口	1,591人	4,531人	3,083人
小学校	1校 (35人)	1校 (176人)	1校 (83人)
中学校	1校 (87人)	1校(組合立) (84人)	

※日野町 小学校2校130人 中学校1校77人

保健・福祉や生涯学習・教育等の住民サービスが増えつつある中、将来にわたり安定したサービスを提供するには、首長主導で、教育事務など3町村共同の事務を一体的に処理する体制を確立し、行財政基盤の安定と事務の効率化が図られることになったのです。(平成21年4月1日・広域連合教育委員会発足)

取り扱う業務
・教育委員会の設置及び運営に関する事務
・広報紙の発行に関する事務
など全部で9項目

広域連合設置の効果

子ども先生も

みんな兄弟！

「今日は1日隣の小学校に全校で出かけ授業を受けます。スクールバスで移動、先生たちも一緒だ。給食も休み時間も大賑わい。」

先生たちは各種研究活動で情報交換し、切磋琢磨。また特産のお茶を子どもたちだけで管理生産したり、カヌーで自然に親しんだり各学校の枠を超えてお互いに体験できるようにするなど、1つの組織だから柔軟になりました。」

こんな素敵なことを可能にしたのが、京都府相楽郡の広域連合教育委員会です。京都府の最南端。奈良県に境を接するここは、「宇治茶」の半分を生産している山間の町です。平成17年組織設立に向けて準備にかかり、平成20年の法改正により、この広域連合方式が可能になったのを契機に、全国に先駆けて設立されました。

西本教育長は5年間を振り返りながら、「過疎・少子化に悩む町が、あらゆる垣根を取り払って、子どもたちの身



教育委員会事務所の前で

に添った改革にチャレンジした」旨を語られました。

広域連合設立まで、管内の中学校校長を務めておられたが、請われて隣接市から通ってきておられます。

この5年で学校間交流・支援が活発になり、特色ある教育活動が広まったと振り返られました。

人件費事務費の削減 年間5200万円

教育委員会事務局の連合運営によって、人件費・事務費の削減が可能となり、財政的効果が上がっています。また、3町の教育委員会と1中学校を1部事務組合で運営しているため、5組織がひとつにな



説明を熱心に聞く教育民生常任委員会委員

った事により、教育委員は9人の削減となりました。(法定数は4教育委員会で20人であるため、法定上では15人の削減)
事務職員は13人から4人が削減でき、行政のスリム化で管理的効果も上がりました。

成果と課題

① 学校間の相互交流・相互支援が進んでいる。特に地域の特性を生かした郷土愛を育む教育活動が充実(カヌー体験学習、お茶学習、清掃活動、地域の伝統文化の継承など)。地域を愛する心が育っている。

② 町村によって施設・設備に差があり、予算の使い方も独特な為、教育効果をよく考えて予算要望する必要がある。

③ 小学校で少人数によるきめ細かい指導や、個に応じた指導を徹底してきたが、かんばしい成果が上がっていない。中学校の数学は、驚異的な伸びとなった。(これは一人の先生の熱意と指導力によるところが大きいと感じた。)

④ 5校の全教職員を集めて、道徳教育や特別支援教育の研究会を開催。研究校指定。特別支援学級設置校を2校から4校に増やす。全校に支援員を配置した。

⑤ 予算を総合的に見直し、管理備品や教材備品なども、できるだけ共有化している。

⑥ デメリットとして、教育委員会と地域住民との物理的な距離が離れたことで、心理的な距離まで離れはしないか心配している。地域住民の声を積極的に聞く場を設けるなど、

工夫が必要だと感じている。また、社会教育分野では、生涯学習組織が各町村にあり、整理・統合は容易ではない。

まとめ
視察の目的である少子化に対応した今後の教育行政(学校教育)のあり方を考える上で、参考になりました。

日野町学校別児童・生徒の推計表

	25年度	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
黒坂小学校	36	38	37	28	26	26	26	19	-	-	-	-
根雨小学校	94	88	70	68	62	59	53	45	-	-	-	-
日野中学校	77	69	79	77	77	61	53	49	46	43	39	39



広域連合で運営する和束小学校

全国学力テスト・学校別公表を



中原 明議員

答 公表はしない

きが出ています。

議員 全国学力・学習状況調査、学力テストについて町村が学校別に成績を公表する動

- ①本町の小学校、中学校別各教科の平均点は何点でしたか。
- ②鳥取県平均点とは、どうでしたか。
- ③この結果の要因は何ですか。
- ④今後の学習指導の課題は、何でしょうか。
- ⑤学校、教育委員会、家庭との連携の取り組みを尋ねます。

習状況を把握分析し、成果と課題を検証し改善を図る趣旨により点数の公表はしません。鳥取県の平均点は、広報ひので公表しています。本町は、全国平均、県平均より低い結果です。対象児童は19人と少人数であり、1人の点数の平均点への影響が高く、毎年傾向は変わります。

授業で理解したものが定着するには反復学習が重要です。

その時間、機会を増やすには家庭学習なので、家庭との連携が必要です。教育委員会からも啓発を行っています。

中学校は、全国平均、県平均より高い結果です。

数学では、発展的な問題が課題なので、粘り強く考える機会を持ちたいと思います。

議員 公表することは、学校や教育に対する関心が深まる要因でもあります。文科省は、

来年からは、公表する動きのようです。全国的には多くの自治体が本年から公表してい



ます。本町が公表しない理由は何ですか。

教育長 25年度は、文科省の実施要綱で公表しないとあり、本町は公表しません。

議員 結果は数字であり点数です。平均点を他校と比較することでは本町のレベルが分かります。

議員 教育の基本論だけでは、家庭や町民から「がんばろう」の気持ちが湧かないのではありませんか。

教育長 平均点を比べるなど点数が全てではないと思います。子どもの状況を踏まえ施

策を考えます。

議員 全国トップレベルの学校では、少人数学習にしたいと成果がでていっていると言っています。本町は、少人数学校です。復習、予習の時間が少ない。ここが課題ではありませんか。

教育長 15年プランで家庭学習の時間の目標を立てています。ノーテレビの日を設けるなど家庭学習の時間を増やす取り組みを進めています。



松本 利秋議員

集落活性化に支援員を

答 職員体制で対応



除雪の支援を行う

議員 高齢化が進み、積極的に集落に向き、元気づくりと活性化の助言やサポートをする仕組みを構築する必要があります。ありませんか。

町長 町では、高齢者見守り支援員を配置しています。また、職員には、各集落の地区担当制も設けていますので、新たに集落支援員を配置することは現在考えていません。

議員 全国的に人口の減少と

高齢化の進展は深刻であり、総務省は集落支援員制度（集落員一人当たり350万円を上限に特別交付税措置）を設けています。全国でたくさん自治体が活用し、地域の活性化に努めています。鳥取県内では、県5人、7市町で36人が活躍中です。町の財政負担はいりません。

町長 が言われる、職員の地域担当制は機能していない状況にあり、この制度を活用すべきではありませんか。

町長 この制度が本町に合っているならば、取り組んでいく価値があると思います。

町内を熟知した職員の担当区制、そして高齢者の支援員をまずやってみてどこに問題があるか検証。声がかかればいつでも町の職員は出かけますので、活用できるものからやっていくほうが、私は、日野町のためになると思います。

議員 この制度は、

国に合わせるのではなく、本町に合ったものを取り入れて、集落の活性化を図ればいいのです。

支援員を配置することによって、職員もそれだけ役場で仕事ができますので、一石二鳥ではありませんか。

町長 国の制度があるからとしても、取り入れる気持ちになれないのです。

町誌編さん委員会を設置して

議員 町誌（史）の発行について、担当職員を配置されましたが、編さん委員会の立ち

上げもなく動きが見えませんが、どのような進捗状況ですか。

町長 町誌編さんには、委員会設置は欠かせないものであると認識しています。

準備会を立ち上げ、関係者並びに町内の有識者の皆さんを中心に構成し、新町誌の骨子や編さんの方向性、編さん委員などについて協議を重ねる予定です。

議員 資料収集、また図書館の収蔵庫も一杯の状況なので、収蔵庫及びギャラリーの設置が必要ではありませんか。

町長 収蔵庫、展示施設については現在考えていません。



発刊が待たれる日野町誌

タクシー助成1000円以下に

答 今その考えはない



小谷 博徳議員

議員 町は交通弱者救済にタクシー補助券で対処し、住民は大変喜んでいきます。

どのように評価していますか。
町長 町民の皆さんが大変喜んでおられます。
それは1000円という料金設定にあると思っています。
議員 一番救済が必要な、公共交通バス停まで遠い交通弱者の方は、国民年金で1000円は、使いづらいと言われています。

町長 仮に800円にすると、タクシーの不足問題や、タクシー利用の増加が逆に町営バスの利用度に、しわ寄せがくる状況も考えられます。
本町の交通政策について、交通弱者の支援はどういう形が良いのか、さらに調査研究をしていきたいと思っています。

インターネット環境の現状を広く町民に

議員 町は、財政状況などにより、光ファイバー通信より携帯電話の全世帯受信による情報通信で、まちづくりを行うような施策を進めてきました。
無線によるインターネット環境の存在を、知らない町民が多いようですが、町は情報提供を十分行ってきましたか。
町長 「十分してきたか」といわれると、そういう声があるとするならば、十分ではなかったかとも思われます。

議員 おひさま広場11月号に、光ファイバーを早く引いて欲しい、スカイプ(テレビ電話)も使えない。行政関係者の方にお願ひします。と投稿されています。
光ファイバーがないとインターネットが出来ないという事例だと思いますが、どうですか。
総務課長 広報ひの11月号で、無線通信のエリア拡大を掲載しました。来年に向けてさらに拡大するという情報もNTTより頂いています。
議員 広報11月号では、黒坂根雨とその周辺が対象エリアと掲載されています。私は情

報過疎地域の上菅で、平成23年よりフォーマ・クロッシイー(高速通信)の無線ランで、海外3ヶ国の友人と映像や写真を付けた交流を行っています。
もっと無線によるインターネット環境を広報すべきだと思います。
総務課長 広報が足りない部分があったと思っています。
来年度エリア拡大という情報もあり、広報したいと思っています。



福祉タクシーを導入し、より利用しやすくなる



携帯電話アンテナ (高速通信も可)



佐々木 求議員

根雨水道の根本的な見直しを

答 検討する必要がある

議員 根雨地区の簡易水道は、水源探査を行ったが、有力な水源が見つからず打ち切りになりました。

浅井戸のため濁ること。水量を確保すること。設備が老朽化してきたこと。大災害に耐え得る設備にしていくなど、多くの課題があります。

財政危機の中、後送りせざる得ない状況が続いたが、この際根本的な見直しを行い、知恵を結集した対策と計画が、緊急に必要ではないですか。

町長 日野川の伏流水を水源に、一日当たり1170リットル給水しています。

水源改良に伴う深井戸水源



根雨簡易水道の水源

を計画し、根雨・三谷・舟場・野田・高尾地区を電気探査しましたが、給水人口を賄う地下水量は確保できないとの調査報告でした。

既設浄水施設を改良し、濁度対策、鉄・マンガン・クリプトスポリジウムの除去や計装盤の更新、安全性を備えた質の高い水道施設づくりを効果的、経済的に進めたいと思います。

ゲリラ豪雨等も考慮しながら、今の位置が本当に絶対安全なのかということも踏まえ、これから十二分に検討する必要があると思います。

介護保険の改正は

議員 国民は年金や所得の引き下げ、四月からは消費税の引き上げなど、生活不安は大きくなってくるばかりです。

こんな中で、介護保険の改正が行われようとしています。

要支援の保険適用を除外し、介護予防・日常生活支援総合事業を町独自にやるようにし、特別養護老人施設は中度・重度の人に重点化。

自己負担の強化の中、これまで通り介護保険は利用できるか伺います。

町長 ヘルパーなどの訪問介護や通所介護などは、町が行



デイサービスを利用する高齢者

う地域支援事業に見直し、継続する対応が必要です。

総合事業は、次期計画では必須になります。

特別養護老人ホームは入所者はほとんどが要介護3以上で、大きくは影響しません。

所得160万以上は9割で認定は10数人と少ない。多くの人は従来通り利用できます。

今回のやり方は、小規模町村にとって大きな負担を背負うことになり、遺憾に感じています。



金持獅子舞いで住民に元気と幸せを届ける

今年は雨となりましたが、午前9時に金持神社に詣で、奉納の舞いをして身を清めた後、家々をびしょ濡れになりながらも元気に回りました。家族が玄関で一行を待つ中、猿田彦の尊に扮する天狗の面を付けた者が、「家内安全」と祝詞をあげ、笛、太鼓、鉦のリズムに合わせて、二人が一組になり息を合わせて、

獅子舞いで「家内安全」
金持青年会

「家内安全」と叫ぶかん高い声が、金持集落の山あいこだまする。

金持青年会は1月1日、地区住民の無病息災を祈念し、獅子舞いをして家々を練り歩きます。

獅子舞いは正月に欠かせない行事で、住民の楽しみの一つとなっています。

今年は雨とな

獅子舞いを踊ります。
途中、初詣客で賑わう、金持神社札所に立ち寄り獅子舞いを披露。

参拝客の人々は大喜びで拍手喝采を浴びました。獅子と記念撮影をする人々も大勢いました。

獅子は、人々を嘯み、邪気
払いのサービスにつとめ、参
拜客は思わぬ金持獅子舞いに
酔いしれていました。

金持と後谷の全世帯40戸を全部回り終えた時には、午後1時になっていました。

金持獅子舞いを舞って36年
二代目の4人が活躍

金持青年会(若林一寿会長
9人)は、昭和54年に結成。

当時、金持地区には若者がたくさんいましたが交流がなく、公民館に顔見せ会ということで集まり、そこで何かしなければと意見がまとまり、獅子舞いのアイデアが浮かびました。

自治会から40万円の寄附をもらい衣装を整え、今回で36回目の獅子舞いができました。少子高齢化で一時期は活動が危ぶまれる時期もありましたが、郷土思いの若者たちや先輩の誘いに、二代目の4人



金持青年会の皆さん（他に2人のOBが協力）

が加わり9人になりました。
獅子舞いに太鼓背負いとして初参加した、高校一年生の櫃田和希君は、「おもしろかった。来年も是非参加したい。」と満足そうに話してくれました。

一方、獅子舞を迎える住民の一人、若林昭寿さんは、「正月が来たなと感じ、心身が清められ、すがすがしい気持ちになります。」と大歓迎の様子でした。

金持青年会は、今後も住民の幸せと健康を祈り、舞い続けたいと思いますので、ご協力とご指導をお願いします。

金持青年会 筆

編集後記

明けてからおめでとうございます。今年もよろしく
お願いします。

雪も大したこともなく、正月を迎えることができ、一安心しています。春には消費税の値上げもあります。が、今年午年、町政も大きく飛躍し、皆様の暮らし、健康が守られて行くことを願うばかりです。

今回は創刊以来「第100号」という記念すべき号です。特別の企画が多く盛り込まれています。創刊号からそのページをめくれば懐かしい先輩諸氏の顔がたくさんあります。

連綿と続く、この伝統を引き継ぎ、一層分かりやすい、読みやすい紙面づくりをしなければと思っています。

明るい一年になるように、
力を合わせて頑張りましょ
う。

(佐々木求)

議 会 広 報 常 任 委 員 会

委員長 安達 幸博
副委員長 松原 直人

佐々木 求

小谷 博徳

松本利秋

梅林 智子